

こ みち
教育の小径

【今月の花】
クロッカス
【花ことば】
信頼・青春の喜び

今月の記念日

北方領土の日(2月7日)

北方領土問題に対する国民の関心と理解を深め、返還要求運動を盛り上げるため、昭和55年11月の国会で全会一致で設けられました。2月7日は、1855年に日露通好条約が調印され、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方四島が日本の領土として確定した日です。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

外国語活動・推進上の課題

- 外国語活動の時間を充実させるためには、各学校が年間の指導計画を作成するとともに、評価のあり方や方法について検討する必要があります。
- 担当教師の負担感を和らげるためには、教育委員会からの支援を得るとともに、校内に指導体制を整えることが大切です。

完全実施への準備は万全か

小学校の高学年における外国語活動は、平成21年4月からの移行期間から前倒して実施することができるようになってきました。すでに導入している学校も多く見られます。来年度からは年間35時間、すべての小学校で実施することになりますが、それまでに解決しなければならないさまざまな課題があります。

学校で指導する際には、いかなる教科等でも「教材」を用意します。外国語活動の授業においても「教材」が必要です。文部科学省からは「英語ノート」が提供されていますが、その活用の仕方を各学校が決める必要があります。事前に活用方法を検討する際には、各学年の指導計画を作成しておかなければなりません。その内容は、中学年などで外国語活動を実施するかどうかもかかわってきます。



中学年で外国語活動を実施するときには、スキルを習得させることを主目的にした場合には、「総合的な学習の時間」を活用して指導することはできません。趣旨が異なるからです。学校教育法施行規則第55条の2にもとづいて、標準授業時数の枠外で指導時間を独自に設けて実施する方法があります。

評価に対する準備も必要

外国語活動における評価についても検討すべき課題があります。この時間は数値による評価がなじまないとされていることから、「総合的な学習の時間」の評価と同じように、評価の観点を設定し、それに即して文章の記述による評価を行うことになっています。

児童指導要録の「外国語活動の記録」の欄には、設置者(教育委員会)が学習指導要領の目標を踏まえて評価の観点を記載することになっています。各学校は、観点を追加して記入することができます。文部科学省から示された児童指導要録の「参考様式」には、目標を踏まえて「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語への慣れ親しみ」「言語や文化に関する気付き」の三つが示されてお

り、これらを参考にすることができません。

さらに各学校では、来年度から使用される通信簿への記載方法についても検討する必要があります。

外国語活動の評価の趣旨や方法等について、機会をとらえて子どもたちや保護者に分かりやすく説明する時間を設けます。その際、いたづらに不安をいടくことがないように留意します。

学級担任の負担軽減を

指導体制をどう整えるかという課題もあります。指導者は原則として学級担任が行うことになっています。負担をいだいている教師も多いことでしょう。指導者として研修を受けることは必要ですが、教育委員会によるネイティブスピーカーの派遣など人的な整備と支援が欠かせません。

英語指導助手(EAT)などとチームティーチングを組んで指導するときには、学級担任が中心になること、指導に関する打ち合わせの時間が必要になること、英語指導助手への要望などは定められた手続きを踏むことなど、さまざまな配慮すべき事項があります。

校内に全校で推進する体制を整えることが何より重要です。

教科において、単位について重点的に指導する場は算数科です。算数科の学習指導要領によると、2年でmm、cm、mのほか、ml、dl、lを、4年でcm³、m³、km³を、5年でcm³、m³について指導するようになっています。算数科においては、単位について系統的に指導されています。こうした重さやかさや広さなどの単位は、社会科や理科、家庭科などの教科でも登場します。

社会科の飲料水に関する学習では、1m³という水などの量を表す単位が使われます。未習の事項であるために、ある中学年の教科書には「たて、横、高さがそれぞれ1mのようきに入る量を1m³（立方メートル）といいます」と解説されています。算数科で指導されるまえに扱われる単位については、こうした指導が必要になります。

なお、これからは、ml、dl、lを、mL、dL、Lと表記するようになりました。多くの国ではlという記号が用いられていないためです。リットルをアルファベットのlと表すため、数字の1とまざらわしかったのです。来年度から使用される教科書は改められています。すでに学習済みの子どもたちにも改めて指導するとよいでしょう。

こうした単位などの記号の意味や正しい使い方を身につけさせることは、今日課題になっている言語活動を充実させるために大切なことです。

何ごとにも言えることですが、「めあて」が明確に設定されていると、目的意識をもって主体的に取り組むことができます。このことは授業においても例外ではありません。

「本時のめあて」を示して展開することは授業の鉄則です。めあては、教師が一方的に提示する場合、子ども自身が「今日のめあてはこれだ」と主張する場合、子どもたちと教師が話し合いながら設定する場合があります。いずれにおいても、子どもたちが意欲的に取り組むようにします。

「本時のめあて」は子どもたちの興味・関心を重視しながら設定されることが望ましいのですが、それだけではありません。「本時のめあて」にもと

づいて学習を進めていくと、教師が設定した「本時の目標（ねらい）」が実現されるようにすることが重要です。教育が意図的な営みだと言われるのは常に目標が設定されているからです。

「本時のめあて」と「本時の目標」が一体の関係にあるということは、「本時のまとめ」をするとき「本時のめあて」に立ち返ることによって、「本時の目標」の実現状況を評価・確認することができるということです。「本時のめあて」の設定には、授業の質を左右する重要な意味があるのです。



教育キーワード 様々な全体計画

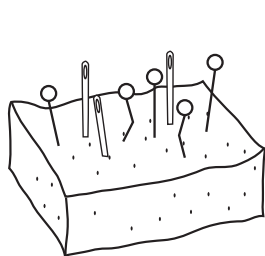
各学校では、道徳教育、生徒指導、特別活動、総合的な学習の時間、食に関する指導など、様々な課題の全体計画を作成しています。これらは、各教師や学級、教科等の指導計画を作成する際によりどころになるものです。その意味で、指導計画という実施計画に対して、全体計画は基本計画としての性格や役割をもっています。

全体計画を作成することにエネルギー

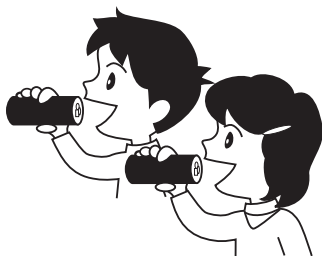
が費やされて、その実施状況や結果に対する検証が十分に行われていない実態も見られます。全体計画は実践とおして日々検討を加え、よりよい内容に改善することが求められます。

全体計画は教師が活用するだけでなく、保護者や地域住民に対して、学校の取り組みを説明する際にも活用されます。保護者などにも理解できるように分かりやすく表すことが大切です。

学級通信に使える今月のイラスト



針供養



患方巻き

編集後記

外国語活動の拠点校の先生方と仕事をさせていただいたことがあります。お話を伺った中で印象に残っていることは「小学校英語では、先生は英語のお手本ではなく、英語をしようとする姿勢のお手本なのだ」という言葉でした。だからこそ、学級担任が授業の中心になるのだと感じました。（H記）



企画・編集 ばんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂 発行日：2011年2月1日

Information (PR)

小学校外国語活動 授業と指導のアイディアブック

- 英語ノートと連動したわかりやすい活動案集
- 短時間で指導のコツが見られる
- 指導映像20例

◎監修/ 梅本 龍多、宗 誠、直山本 綿子
◎編著/ 小学校英語研究会
◎定価/ 6,300円(税込)
A4版/135ページ/2色
DVD付き
◎発行/ 株式会社文溪堂